

	<p>問題集『ウィニングコンパス』 P 72～ 93 ⑩村落・都市 ⑨人口・人口問題</p>	8 9	2 9	<p>系統地理分野の都市・村落、人口・人口問題について、センター試験の過去問の演習を中心に応用力を養成する。</p>
	<p>問題集『ウィニングコンパス』 P 62～71、P94～ 109 ⑦消費・観光・世界遺産 ⑧交通・通信・貿易 ⑪生活文化・民族・宗教 ⑫国家・領域・国家群</p>	10 11	12 6	<p>系統地理分野の民族問題など現代世界の諸課題について、センター試験の過去問の演習を中心に応用力を養成する</p>
	<p>[テスト範囲] 《実力テスト》「ウィニングコンパス」P158～169、P174～179、P 34～ 39 (⑱アングロアメリカ⑳ラテンアメリカ㉑極地方㉒比較地誌、④環境問題) 「ウィニングコンパス」の1学期の学習範囲より復習問題 《中間テスト》「ウィニングコンパス」P 72～ 93、P 12～ 33 (⑨人口・人口問題⑩村落・都市 ②地形③気候・水) 「ウィニングコンパス」の1学期の学習範囲より復習問題 《期末テスト》「ウィニングコンパス」P 62～71、P94～ 109、P 40～ 61 (⑦消費・観光・世界遺産⑧交通・通信・貿易⑪生活文化・民族・宗教⑫国家・領域・国家群、⑤農林水産業⑥鉱工業) 「ウィニングコンパス」の1学期の学習範囲より復習問題</p>			
第3学期	<p>センター試験に向けた特編A 問題演習 総復習</p>	12 1	10 5	<p>センター試験の出題形式と内容、難易度に対応した問題集を解きながら本番にそなえる。 「センター試験実戦問題集 地理B」 「センター試験実戦問題パックV 地理B」 (駿台文庫) 「進研センター試験直前演習 地理B」 (ベネッセ) ※センター試験受験者は後日購入予定</p>
	<p>[課題等] 授業時の問題集の復習を繰り返し行う。</p>			
	<p>[学習状況の評価方法] ・ 定期考査・実力考査の得点を基本とする。 ・ 出席状況が良くないものは、学習評価を下げる場合がある。 ・ 授業時の取り組む姿勢(予習の有無や集中力)なども考慮する。</p>			

3. 授業を受けるにあたっての注意事項

- 1) 授業の用意をきちんと行なう。
- 2) 授業時のマナーを守る。
 - ①遅刻をしない。
 - *チャイム前に授業の準備をして着席する。
 - *授業開始時に座席にいない者は欠席扱いとする。
(遅刻した者は、授業終了後に遅刻の理由を申し出ること。
申し出のない者はそのまま欠席扱いとなる。)
 - ②携帯電話の取り扱い
 - *授業時は机上にださない、ならさない、手元で隠していじらない。電源を必ず切ること。
 - ③その他
 - *飲食しながら・ガム等噛んだままでない、帽子等かぶったままでない。

4. 学習のポイント

1) 授業の進め方

- ①授業は『学習の手引き』に沿って、問題集『サクシード地理』・『ウィニングコンパス』を使用し進めていく。
- ②理系の生徒は、学習の気力や時間を地理まで十分に配分できないのだから、授業が大事！

2) 学習のしかた

- ①教科書を一通り読みこなすこと
 - *授業は問題集を使用した実践的なものとなる。教科書レベルの基礎知識は、各自で固めておくこと！教科書を読んで(2~3回)、受験に必要な内容を確認し、基本を固めること。教科書中の図や資料が重要であり、本文以上に、意識を注ぐこと。
 - *2年次学習した内容を復習しながら、また2年次に省略された初めて学ぶ分野を確認し、理解しておく。
- ②問題集を使用し、着眼点や判断の決め手・判断の進め方、あるいは要点をつかむことを意識する！
 - *『ウィニングコンパス』を必ず最低3回はやりこもう。
問題集は毎日やる必要はないが、計画的にそれこそ期間を決めて集中的にこなすのがよい。そのために、定期考査ごと範囲を確実に征服していくことが大切！定期考査の勉強が受験勉強を計画的に進めることになる。
- ③地理のセンター試験は、知識を問う出題ではなく、知識を活用する力を問う出題であることを意識する！
 - *地理は決して暗記科目ではない。もちろん暗記せねばならないことも多々あるが、なぜそうなるかという因果関係や背景を理解することが大事である。
例えば、砂漠の名前を問う出題はない。なぜそこに砂漠があるのかを問うのである。
- ④地図帳・図説は、後でではなく、その都度開く！
 - *センターでは、グラフ・統計や地図を用いた出題がほとんどで、文章だけの出題はほんのわずかである。自分の頭のなかに、文字データではなく画像データを蓄積していく意識が大切！
 - *時間の許す限り、新聞やテレビニュースなどに目を通しましょう。視野を広くし歴史的な背景や政治的な背景に興味を持つことが大事(国際関係・民族問題などでは特に)。
- ⑤定期考査・問題集・模試の問題など、できなかった箇所をそのまま放置しない。
 - *できるまで復習し、繰り返し確認することが必ず基礎力養成にとなる。
 - *こまめに不明な点を研究室に質問に来る生徒は、間違いなく実力は向上する。
- ⑥11月以降は、センター試験模擬問題をできる限り数多くこなすこと。
 - *着眼点や判断の決め手・判断の進め方をつかむこと！
出題者は、正解が判断できるように逆算して問題を作っていることを意識する！
 - *私大を地理で受ける者は、赤本等でその大学の傾向を至急検討することが必要であり、その傾向に応じた対応をとること。(教科担当者に相談に来ること)